

国指定重要文化財・史跡など

長崎には数多くの重要文化財や史跡などが点在しています。日本に連続と伝わってきた歴史とともに、諸外国との貿易や交流が盛んだった歴史的背景から、異国文化の流れを汲む史跡など他県には類を見ないほどの、さまざまな種類の文化財が集中しています。わたしたちの長崎県に、どのような文化財があるのか調べてみましょう。



「雲仙岳」と「温泉岳」の由来について

「雲仙」という地名は、まだ長崎県営公園であった当時、温泉の地であったことから「温泉」という字が用いられていたんだ。昭和9年(1934年)に国立公園に指定されることになって「雲仙」と改められたんだよ。現在は、「温泉岳」と「雲仙岳」が併用されていて、「温泉岳」は国の特別名勝の名称として、「雲仙岳」は、平成新山・国見岳・妙見岳などの総称として使用されているんだ。



雲仙岳 (提供: 雲仙市)
温泉岳 特別名勝 (国指定)



大村の郡三踊(寿古踊、沖田踊、黒丸踊) 無形民俗文化財 (国指定) ※写真は黒丸踊郡三踊は、大村市旧郡村の寿古、沖田、黒丸の各地区に伝わる風流踊である。現在は、大村市が毎年行なう「おおむら秋まつり」などの催しに各踊りが輪番で出演するなどしている。平成26年3月10日に国指定無形民俗文化財に指定された。(提供: 長崎県観光連盟)



平戸和蘭商館跡 史跡 (国指定)
長崎出島に移転するまで、平戸はわが国唯一のオランダ貿易港であった。現在は1639年に築造された倉庫が復元され、オランダ堀のほか、オランダ井戸、埠頭、海岸の石垣などが残っている。(提供: 長崎県観光連盟)



肥前波佐見陶磁器窯跡※写真は畑ノ原窯跡 史跡 (国指定)
波佐見焼は、磁器の大衆化に貢献し、日本の生活文化に寄与した役割は固りしれず、7箇所が国史跡の指定を受けた。(提供: 波佐見町教育委員会)



原の辻遺跡 特別史跡 (国指定)
杵崎市にある旧石器時代～中世にわたる複合遺跡。「魏志」倭人伝に記載された一支国(いきこく)の中心集落として、平成12年度に国特別史跡に指定された。海を介した広域交流が行われた交易拠点であったと考えられている。(提供: 杵崎市観光連盟)



対馬市 (H16.3.1合併)

杵崎市 (H16.3.1合併)

日本のヤマメコはツシマヤマメコとイリオモテヤマメコの2種しかないんだよ。どちらも年々生息数が減ってるんだ。



ツシマヤマメコ 天然記念物 (国指定)
対馬だけに生息する野生のネコで、大陸から渡ってきたと考えられ、ベンガルヤマメコの亜種とされている。イエネコと同じくらいまたは一回り大きく、胴長短足、耳のうしろに白い斑点があり、尾が太くて長いなどの特徴がある。(提供: 対馬野生生物保護センター)



新上五島町 (H16.8.1合併)



オーモンデー 無形民俗文化財 (国選択)
福江島の西の沖合に浮かぶ嵯峨島に伝わる古い念仏踊り。ジュバンを着て、短い腰巻をまき、派手な冠物をつけて昼は戸毎に踊り、夜は墓所で踊る。「オーモンデー」はカネ叩きが唱える歌詞の一部。昭和52年1月11日に県指定無形民俗文化財に指定。(提供: 長崎県観光連盟)

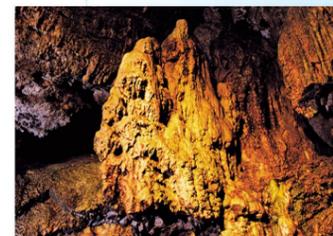
五島市 (H16.8.1合併)



日島の石塔群 史跡 (県指定)
石造文化が進んだ関西・北陸地方で1300年代から1400年代にかけて製作され、日本海ルートで日島へ搬入されたと推測される。(©KAMIGOTO)



頭ヶ島天主堂 (提供: 長崎県観光連盟)
重要文化財 (建造物) (国指定)
新上五島町にある頭ヶ島天主堂は西日本で数少ない石造教会堂で、信徒が総力を結集して10年の歳月をかけて作り上げた。重厚な外観に対して華やいだ内部空間を構成し、鉄川与助の代表作品である。



七釜鍾乳洞 天然記念物 (国指定)
清水洞をはじめ、西海市西海町中浦郷一帯にある多くの横穴や縦穴の総称で、延長が2,000mを超える洞窟があるなど、国内でも有数の規模である。(提供: 長崎県観光連盟)

鷹島神崎遺跡 史跡 (国指定)
くわしくは、19,74ページ

※教会の写真掲載については、大司教区の許可をいただいています。